

発 言 通 告 書

令和 7 年 2 月 28 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 渡 部 克 彦

次のとおり通告します。

発言順位	1 7	受領日時	2 月 28 日 午前 9 時 55 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間 約 45 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	市民の移動手段の支援について	(1) 現在市内で運行されている高齢者の移動手段の現状認識について (2) 松山市地域公共交通網形成計画の達成状況について (3) 松山市地域公共交通網形成計画の見直しが来年度に行われるが、どのような市場調査や市民調査を行い、上位・関連計画の整理を行う予定なのか。
2	松山空港国際線について	(1) 松山空港国際線の搭乗実績と今後の見込みについて (2) 松山-上海線の復活について、現時点でどのような折衝を行っているのか。
3	JR松山駅周辺の広域交流拠点と市民会館について	(1) 松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想では市民会館の機能を引き継ぐはずだったが、アリーナ整備を求めた経済団体から、どのようなきっかけと経緯を経て市は受けたのか。 また、提言を受けた本市はどういう意思決定過程を経た上で方針変更を決めたのか。 (2) 市民会館を利用している市民や団体はどのような意見を持っていると認識をしているのか。 また、再整備の時期や方針などについて、どのような説明をして納得を得ているのか。 (3) 現時点で考えられる整備費用及び本市の負担が今後 50 年にわたって持続可能であると検証した手法と結果について (4) 多額の整備費用を誰が負担するのか。 また、ランニングコストの赤字を埋める責任者は誰になるのか。 (5) 新駅舎が完成してもなお、整備計画すら完成していない理由は何であると認識しているのか。 また、スピード感を求められたことに対する所見を伺う。

